

川 土 第 38 号
平成20年10月24日

国土交通省道路局長

川西市長
大 塩 民 生



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付け（国道企第37号）で依頼のありましたみだしの
ことについて、別紙の通り回答いたします。

担当所管
川西市土木部道路整備課
電話 072-740-1183

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点・要望や提案など

兵庫県川西市

- ・安全で快適な暮らしの実現や地域再生を図るため、平成21年度以降も必要な道路整備や老朽化の進む数多くの既存ストックの維持管理が停滞することのないよう財源を確保すると共に、着実に計画的に推進すること。
- ・安全・安心な地域社会を確保していくうえで、ボトルネック解消、バリアフリー化、無電柱化の推進等、地域のニーズに応じた道路政策について円滑に推進を図ること。
- ・地域の課題に対応した道路整備を進めるとともに、道路網の整備が進められるよう必要な財源を確保すること。
- ・防災対策、危機管理への対応強化とともに、災害に対して安全に避難可能な避難路も兼用可能な地域住民の視線に立った信頼性の高い道路づくりを進めること。
- ・沿道の大気汚染や騒音、地球環境問題に対応するため、道路環境対策を一層充実すること。
- ・新名神高速道路の早期完成を図ること。
- ・バリアフリー法に基づく基本構想で定められた道路特定事業の整備は、新たに国庫補助制度を増設しバリアフリー化の促進を図ること。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

兵庫県川西市

○現状

- ・ 現在街路事業、道路事業において国庫補助採択基準が幅員が 16 m 以上となっている。
- ・ 道路橋りょうについて、長寿命化修繕計画策定に要する費用のみが国庫補助事業になっている。
- ・ 交通バリアフリー法に基づく基本構想を策定し、道路特定事業を定めたが、実施に当たり財源確保が困難な状況となっている。

○課題

- ・ 都市計画決定道路や生活道路幅員 8 m～15 mについて、国庫補助が採択されない。
- ・ 生活道路の橋りょう修理に要する費用について、国庫補助が採択されない。
- ・ 道路特定事業の整備（歩道整備）についての国庫補助は、既制度下での事業となるが部分的な整備（歩道のみ）では採択されない。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

③-2 地域の目指すべき将来像

兵庫県川西市

道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も重要な社会基盤施設であり、道路網の一層の整備は必要不可欠である。
しかし、厳しい財政状況の中、総合的なコスト削減を図りつつ、生活道路の交通事故対策や通学路の歩道等の整備又、バリアフリー化を推進することにより、だれもが安全で快適な通行空間とを感じる道路整備を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

兵庫県川西市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
歩行者の安全対策及び車両の安全対策	市道1号道路改良事業 当該道路は歩道幅員が1.5mしかなく、歩行者の通行に支障となっており、歩道拡幅の要望が多くあった。あわせて、市の幹線道路であり、車両の交通量も多く、車道舗装の損傷が激しく通行や環境に支障があったことから改良工事を実施した。しかし、厳しい財政状況の中コスト縮減を図るため、歩道拡幅用地の用地買収を行わず、比較的広い路肩を利用し、歩道幅員を1.5mから2.5mに、車道舗装を排水性舗装に改善した。	歩道幅を広くすることにより、歩行者や車いす、障害者等の通行がスムーズになり、バリアフリー化が図れた。又、車道舗装の改善により、騒音や振動が減少した。	